

# 第45回水の週間実施報告書



令和3年12月

水の週間実行委員会

## 第45回水の週間中央行事は、後援機関及び協賛団体の

皆様のご支援・ご協力により開催されました。

### 主催機関

水循環政策本部 水の週間実行委員会	国土交通省	東京都
----------------------	-------	-----

### 後援機関

文部科学省 経済産業省 公益財団法人 日本科学技術振興財団	厚生労働省 環境省 日本放送協会	農林水産省 独立行政法人 水資源機構 一般社団法人 日本新聞協会
-------------------------------------	------------------------	--

### 協賛団体（五十音順）

公益財団法人 河川財団	一般財団法人 河川情報センター	一般社団法人 建設広報協会
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会	一般財団法人 国土技術研究センター	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構	一般財団法人 水源地環境センター	石油連盟
一般社団法人 セメント協会	一般社団法人 全国建設業協会	公益社団法人 全国建築物飲料水管理協会
一般財団法人 ダム技術センター	一般社団法人 ダム・堰施設技術協会	電気事業連合会
一般社団法人 日本埋立浚渫協会	一般社団法人 日本ガス協会	一般社団法人 日本橋梁建設協会
一般社団法人 日本経済団体連合会	一般社団法人 日本建設機械施工協会	一般社団法人 日本建設業連合会
一般財団法人 日本建設情報総合センター	一般社団法人 日本水道工業団体連合会	日本製紙連合会
一般社団法人 日本鉄鋼連盟	一般社団法人 日本電機工業会	一般社団法人 日本ホテル協会
一般社団法人 日本林業土木連合協会	一般社団法人 日本レストルーム工業会	公益財団法人 リバーフロント研究所

### 水の週間実行委員会委員団体

全国水土里ネット	公益社団法人 日本水道協会	公益財団法人 利根川・荒川水源地域対策基金
一般財団法人 造水促進センター	全国簡易水道協議会	一般社団法人 日本治山治水協会
公益社団法人 日本下水道協会	公益社団法人 土木学会	公益社団法人 日本河川協会
一般財団法人 日本ダム協会	公益社団法人 農業農村工学会	一般社団法人 日本工業用水協会
独立行政法人 水資源機構	特定非営利活動法人 日本水フォーラム	

(目 次)

第 45 回「水の週間」の開催にあたり	4
第 45 回「水の週間」行事の概要	8
水の週間中央行事「水を考えるつどい」	9
水の週間中央行事「水の展示会」	13
動画「シリーズ水のめぐみ」	16
令和 3 年度水資源功績者表彰	17
第 43 回全日本中学生水の作文コンクール	19
一日事務所長体験	23
第 36 回水とのふれあいフォトコンテスト	24
上下流交流活動	28
国・地方公共団体等における取組について	30
広報の取組	34
第 45 回「水の週間」(令和 3 年度)都道府県行事一覧	37
第 45 回「水の週間」新聞等報道状況	38
「水の週間」実施経過	40
水の週間実行委員会について	43

※表紙の写真は、第 36 回水とのふれあいフォトコンテストグランプリ「雨の水族館」：中山洋三氏  
※表紙のロゴマークは、平成 27 年に選定された「健全な水循環」に関するロゴマーク

「水の日」及び「水の週間」について

昭和 52 年 5 月 31 日  
閣 議 了 解

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、「水の日」を設ける。

「水の日」は毎年 8 月 1 日とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、ポスターの掲示、講演会の開催等の行事を全国的に実施するものとする。

上記の行事は、地方公共団体その他関係団体の緊密な協力を得て行うものとする。

「水の日」及び「水の週間」制定の理由

わが国の水需要は、生活水準の向上、経済の進展等に伴って近年著しく増大してきたが、一方水資源の開発は次第に困難になっており、渇水時には水不足が生ずることが予想される状況となっている。

このような状況にかんがみ、毎年 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性に対する関心を高め、理解を深めるための諸行事を行うことによってわが国の水問題の解決を図り、もって国民経済の成長と国民生活の向上に寄与することとしたい。

なお、諸行事を行うためには、年間を通じて水の使用量が多く、水について関心が高まっている 8 月の月上旬が適当であるので、その初日である 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」とするものである。

水循環基本法（平成 26 年法律第 16 号）

第十条 国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため、水の日を設ける。

2 水の日は、八月一日とする。

3 国及び地方公共団体は、水の日趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。

平成 26 年 7 月 1 日に水循環基本法が施行され、8 月 1 日は、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解や関心を深める日として、法律で定められた「水の日」となりました。

## 第45回「水の週間」の開催にあたり



あかばかずよし  
赤羽一嘉 前 水循環政策担当大臣（国土交通大臣）

水循環政策の担当大臣を務めております 国土交通大臣の赤羽一嘉でございます。

まず、本日は、コロナ禍の影響で、何かと制約の多い中、第45回「水の日」記念行事として『水を考えるつどい』が、大変充実したプログラムで開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

また、開催にあたり、多大なご尽力を賜りました「水の週間実行委員会」の虫明会長を始め、全ての関係者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

水は、生命の源であるだけでなく、古くから人々の営みの基礎として、経済、社会、文化の繁栄を支え、私たちの生活に大きな「恵み」を与え続けてまいりました。その一方で、時として、水は、洪水や渇水などの「災い」をもたらして参りました。

令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨災害、そして先月の熱海市で発生した土砂災害や線状降水帯による大雨災害等、近年の気候変動の影響により、水災害は激甚化・頻発化し、その被害も甚大化・深刻化しています。こうした水のもたらす「災い」を減じつつ、将来にわたり、水の「恵み」を享受していくためには、健全な水循環の維持・回復が必要であり、「国民の皆様の命と暮らしを守る」防災・減災対策が重要です。

国土交通省は、新たな流域治水対策として、109の一級水系において、河川の上流から下流、本川・支川の流域全体を俯瞰し、国、流域自治体、地域住民・企業などのあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水プロジェクト」を策定致しました。政府におきましても、昨年6月『新たな水循環基本計画』を閣議決定し、本年6月には、地下水の位置づけを明確化する「水循環基本法」の法改正が行われたところでございます。今後は、こうした水循環に関する施策を、関係省庁が一体となって、着実に推進してまいります。

しかしながら、政策の推進に当たりましては、国民の皆様には、水に対する関心と理解を持っていただくことが不可欠であります。

これまで、毎年、8月1日を「水の日」と制定し、水の日から始まる1週間を「水の週間」として、全国各地で様々な関連行事を行ってきておりますが、「水を考えるつどい」は、その中心行事でございます。

本日は、「第43回 全日本中学生 水の作文コンクール」表彰式として、1万3千名を超える応募者の中から厳正なる審査を経て、最優秀と認められました作品に表彰を行います。次に、明年4月熊本市で開催される「第4回アジア・太平洋 水サミット」を見据え、アルピニストの野口健様に「エベレストから見た地球のこれから」について、ご講演を頂きます。そして、その後に、「世界の水から日本の水を考える」をテーマに、各分野で世界的に活躍されていらっしゃいます有識者の方々によるパネルディスカッションを予定しております。

本日の「水を考えるつどい」が、多くの国民の皆様にとり、「水の恵みと災い」「水循環の重要性」「世界と日本の水」について、改めて考えて頂ける一つの契機となり、わが国が、安全で安心な「防災・減災が主流となる社会」となりますことを、心よりご期待申し上げます。

結びとなりますが、本日ご参加の全ての皆様方の尚一層のご活躍とご健勝を祈念し、そして、関係者の皆様のご労苦に重ねて感謝申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

水循環政策担当大臣（国土交通大臣） 赤羽 一嘉



水の週間実行委員会 むしあけかつみ 会長

水の週間実行委員会会長の虫明功臣でございます。本日ここに、「水を考えるつどい」を開催するにあたり、主催者の一人として一言ご挨拶を申し上げます。

昨年度の「水を考えるつどい」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、WEB 開催といたしました。本年度は、入場者を制限させていただいたものの、当会場にて開催することができました。開催に当たって、多くの皆様の格別のご理解とご協力を賜りましたことを、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

昭和 52 年に「水の日」、「水の週間」の取り組みが始まって 44 年が経過いたしました。その間、我が国ではソフト・ハードの両面からなる様々な対策を講じた結果、水問題について相当程度の改善を進めることができました。

しかし、ここ数年を振り返りましても、毎年のように経験したことがないような豪雨災害が生じている状況にあり、引き続き被害を軽減する対策への努力を欠かすことはできません。他方、水不足、渇水については、本年も四国地方で取水制限が実施されるなど、渇水による影響が発生しており、引き続き、渇水リスクへの対策も肝要です。

また、世界に目を向けても、気候変動と人間活動の拡大が相まって、水問題は深刻化しています。洪水被害は毎年世界各地で起こっており、本年も 7 月中旬にドイツ及びベルギーにおいて大規模な洪水被害が発生しましたし、下旬には中国河南省において千年に一度といわれる記録的な豪雨により、省都・鄭州市の地下鉄が冠水するなど、激甚な被害に見舞われています。他方、一昨年 3 月にはフィリピンのマニラで深刻な水不足により 100 万を超える世帯の計画断水が実施されるなど、渇水による被害も後を絶ちません。日本としても、常に世界の水問題に目を向け、改善へ寄与していくことが必要です。

このような水をめぐる状況の中で、今後、水に関する防災や減災、持続可能な水利用の確保、世界の水問題の改善などの取り組みを更に推進していくためには、何より、国民の皆様、健全な水循環の重要性などについて、広く関心と理解を深めていただくことが一層重要となってきています。

「水の日」、「水の週間」に全国各地で開催される諸行事は、国民の皆様の関心と理解を深めて頂く上で重要な意義を有するものであり、中央行事である本日の「水を考えるつどい」も、その一助となることに期待しています。

最後となりますが、水の週間行事に対する皆様の今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

水の週間実行委員会会長 虫明 功臣

## 第45回「水の週間」行事の概要

行 事	実 施 内 容	主 催 者 等
水の週間中央行事	1. 水を考えるつどい 日時:令和3年8月2日(月) 14:00～ 場所:パークタワーホール(東京都新宿区) 内容: ①主催者挨拶 ②第43回全日本中学生水の作文コンクール表彰式 ③上記作文コンクール最優秀賞受賞者による作文朗読 ④基調講演(アルピニスト 野口健氏) ⑤パネルディスカッション(木場弘子氏、石田紀彦氏、野村隆治氏、松本重行氏)	主催:水循環政策本部、国土交通省、東京都、実行委員会(注) 後援:文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、(独)水資源機構、(公財)日本科学技術振興財団、日本放送協会、(一社)日本新聞協会
	2. 水の展示会 「水のミュージアムオンライン～水の循環とわたしたち～」と題し、水に関係する団体が動画やスライドショーをWRBに出展したオンラインイベント。	主催:実行委員会、国土交通省、東京都
動画「シリーズ水のめぐみ」	水循環について理解を深めていただくため、水に関する施設を紹介する動画「シリーズ水のめぐみ」をWEBに公開。	
令和3年度水資源功績者表彰	水資源行政の推進に関し、特に顕著な功績のあった個人並びに団体に対して、国土交通大臣表彰を授与。	主催:国土交通省
第43回全日本中学生水の作文コンクール	「水について考える」をテーマとして、中学生を対象に水の作文コンクールを実施。 都道府県の各地方審査等を経た作品を中央審査会で審査し、優秀作品に対して最優秀賞(内閣総理大臣賞)等を授与。	主催:水循環政策本部、国土交通省、都道府県 後援:文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、全日本中学校長会、(独)水資源機構、実行委員会
一日事務所長体験	全日本中学生水の作文コンクール優秀賞以上の受賞者の内、希望する者について在住地近隣の関係機関の事務所等において一日事務所長体験を実施。	
第36回水とのふれあいフォトコンテスト	健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する写真作品(例:「生命を支え、育む水」、「ダムや水路、水道など水をつくり、供給するもの」、「くらしの中の水」、「歴史とともにある水の風景」)を募集し、フォトコンテストを実施。優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与。 また、若年層も含めてより広く作品を募集するSNS部門コンテストを実施。優秀作品に対して、各賞を授与。	主催:実行委員会 後援:国土交通省、東京都、(独)水資源機構
上下流交流事業実施団体への助成	水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性についての啓発や、ダム水源地域の振興に資する上下流住民の連携に関する活動を行う団体等に対し、助成を実施。	主催:実行委員会
施設見学会	ダムや浄水場などの水資源開発施設の見学会を各都道府県等において実施。	主催:都道府県ほか
その他	・全国各地で①講演会、②展示会など多彩な催しの実施 ・ポスターの配布・掲示	

(注)「実行委員会」とは、「水の日」・「水の週間」の趣旨に賛同し、政府による「水の週間」の各種の啓発活動と一体となった諸行事を積極的に実施することを目的として、水に関係の深い団体により設立された「水の週間実行委員会」を指すものです。

## 水の週間中央行事「水を考えるつどい」



令和3年8月2日（月）、パークタワーホール（東京都新宿区）において「水を考えるつどい」（主催：水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会）が開催されました。

なお、東京都に新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発出されていたことから、来場者を関係者のみに限定し、式典の一部を後日ウェブ配信するなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底した上での開催となりました。

式典では赤羽一嘉 前 水循環政策担当大臣（国土交通大臣）、水の週間実行委員会の虫明功臣会長による主催者挨拶につづいて、「第43回全日本中学生水の作文コンクール」のオンライン表彰式が行われ、最優秀賞（内閣総理大臣賞）を受賞した永谷和希さんによる作文朗読映像が披露され、和牛繁殖農家になるという将来の夢や、人間の生活に加えて、和牛の繁殖にも欠かせない「水」の大切さについて語られました。

表彰式の後には、来年4月に熊本市で開催される「第4回アジア・太平洋水サミット」を見据えて、世界に目を向けた視点での、アルピニストの野口健氏による「エベレストから見た地球のこれから」と題した基調講演と、「世界の水から日本の水を考える」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションには、フリーキャスターで千葉大学客員教授の木場弘子氏にコーディネーターを務めていただき、各分野で世界的に活躍されている有識者として、東京都水道局 局務担当部長兼東京水道株式会社水道技術本部長の石田紀彦氏、キリンホールディングス株式会社 執行役員CSV戦略部長の野村隆治氏、独立行政法人国際協力機構（JICA）地球環境部水資源グループ長の松本重行氏をパネリストに迎え、それぞれの立場から「水」に関する様々な取組についてお話しいただき、盛況のうちに終了しました。

【内容】

○主催者挨拶

赤羽 一嘉（前 水循環政策担当大臣・国土交通大臣）

虫明 功臣（水の週間実行委員会会長・東京大学名誉教授）

○第43回全日本中学生水の作文コンクール表彰式（最優秀賞受賞者をオンライン表彰）

最優秀賞（内閣総理大臣賞） 永谷 和希 さん／宮崎県 延岡市立恒富<sup>つねとみ</sup>中学校 3年



表彰式



記念撮影



最優秀賞受賞者による作文朗読映像の披露

## ○基調講演

- ・エベレストから見た地球のこれから  
野口 健 氏／アルピニスト



## ○パネルディスカッション

- ・世界の水から日本の水を考える

### 【コーディネーター】

木場 弘子 氏／フリーキャスター 千葉大学客員教授

### 【パネリスト】

石田 紀彦 氏／東京都水道局局務担当部長 東京水道株式会社水道技術本部長

野村 隆治 氏／キリンホールディングス株式会社執行役員 CSV担当部長

松本 重行 氏／独立行政法人国際協力機構（JICA）地球環境部水資源グループ長



○YouTube（国土交通省チャンネル）での動画配信

①第43回全日本中学生水の作文コンクール 最優秀賞受賞者の作文朗読

<https://youtu.be/7TMfVucIveY>

②基調講演「エベレストから見た地球のこれから」アルピニスト 野口 健 氏

<https://youtu.be/CiQtp7kZLK0>

③パネルディスカッション「世界の水から日本の水を考える」

<https://youtu.be/qJklqYR-12w>



動画①



動画②



動画③

8月1日は  
**水の日**



ポケッタモンスタ-  
No.134 シャワーズ  
タイプ みず  
とくせい ちよすい

令和3年度「水の日」記念行事

# 水を考えるつどい

開催日時 令和3年8月2日(月)  
14:00~16:20

会場 パークタワーホール  
(東京都新宿区西新宿3-7-1)

web配信 国土交通省YouTubeチャンネルで配信予定(8月下旬頃)

式典 [14:00~14:20] 主催者挨拶・全日本中学生水の作文コンクール表彰式など

第1部 [14:35~15:15] 基調講演  
「エベレストから見た地球のこれから」  
アルピニスト 野口健氏

第2部 [15:30~16:20] パネルディスカッション  
「世界の水から日本の水を考える」

コーディネーター 木場 弘子氏 フリーキャスター/千葉大学客員教授  
パネリスト 石田 紀彦氏 東京都水道局局務担当部長/東京水道株式会社水道技術本部長  
野村 隆治氏 キリンホールディングス株式会社 執行役員 CSV戦略部長  
松本 重行氏 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 地球環境部水資源グループ長



※新型コロナウイルス感染症  
緊急事態宣言発出により  
一般の方はご来場できません。

水循環基本法に基づき  
8月1日が「水の日」と定められました。  
8月1日から7日は「水の週間」です。

「水の日」検索



<http://mizunohi.jp>

〔主催〕水循環政策本部、東京都、水の週間実行委員会ほか  
〔後援〕文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省ほか  
〔水の日・水の週間〕に関する情報は各ホームページへ  
〔主催〕国土交通省、水の日・水の週間  
©2021 Pokémon ©1995-2021 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc.  
ポケッタモンスタ- ポケッタモン Pokémonは任天堂、アイディア、ゲームフリークの登録商標です。

「水を考えるつどい」開催周知チラシ

## 水の週間中央行事「水の展示会」

毎年 8 月に、東京都内の会場で、水に関するパネル展示やブース出展などを行う「水の展示会」を開催していますが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場での展示会は開催せず、新たな試みとして「水のミュージアムオンライン～水の循環とわたしたち～」と題したオンラインイベントを開催することとし、令和 3 年 8 月 6 日（金）から「水の日」「水の週間」ホームページにイベントを公開しました。

当イベントには、水に関係する団体（8 団体）が参加し、各団体が作成した動画やスライドショーをホームページに公開し、各団体が出題するクイズに答えるとプレゼントがあたる企画も行いました。

【U R L】 <http://www.mizunohi.jp/museum/index.html>

### 【出展団体】

- ・水の週間実行委員会
- ・東京都水道局
- ・東京都下水道局
- ・一般社団法人 ダム工学会 ダムなんでも相談室
- ・一般社団法人 日本治山治水協会
- ・巧水（たくみ）スタイル推進チーム
- ・特定非営利活動法人 日本水フォーラム
- ・独立行政法人 水資源機構





【水の週間実行委員会】  
水はどこから？

水の大切さについて、水の循環やダムの役割の解説を視聴することによって学ぶ動画。



【東京都水道局】  
みずたび

水道水源林の保全活動や小河内ダム、浄水場などの紹介を通じて、安全でおいしい水が届くまでが学べる動画。



【東京都下水道局】  
翔太の不思議旅行  
～下水道ワールドへようこそ～

下水道の仕組みや役割などを紹介するアニメーション。



【一般社団法人ダム工学会 ダムなんでも相談室】  
ダムのやくわり

水の循環やダムの役割、ダムができるまでがわかるスライドショー。



【一般社団法人日本治山治水協会】

森林の働きとおいしい水

森林に降った雨が、どのようにしてミネラルを含んだおいしい水になるのか、森林の働きについて学べる動画。



【巧水スタイル推進チーム】

マンガでわかる、水を賢く使う方法  
巧水スタイルが地球を救う！

ムダをなくし、水を賢く使う方法について、面白おかしく紹介したマンガ。



【特定非営利活動法人日本水フォーラム】

みんなと一緒に考えよう～水の大切さ

水に困窮する国の状況やその問題に取り組む日本水フォーラムの活動を紹介する動画。



【独立行政法人水資源機構】

○×クイズで水のこともっともっと学ぼう！

水についてのあれこれを、○×クイズに答えて学ぶスライドショー。

mizunohi (YouTube チャンネル) : [https://www.youtube.com/channel/UCyolRlvBiozVoi1LJPwI4\\_w](https://www.youtube.com/channel/UCyolRlvBiozVoi1LJPwI4_w)

## 動画「シリーズ水のめぐみ」

水に関する様々な施設を紹介し、水循環について理解を深めていただくための動画、「シリーズ水のめぐみ」を今年度から作成しました。

第一弾は、「下久保ダム編」として、2021 ミス日本「水の天使」の嶺百花さんが埼玉県と群馬県にまたがる下久保ダムを訪問し、施設の見学、ダムに勤務する職員へのインタビューなどを通じて、ダムの役割を紹介する内容となっています。

完成した動画は、「水の日」「水の週間」ホームページに公開しました。

今後も、水に関する施設や取組などを紹介する動画を作成し、「水の日」「水の週間」ホームページで公開する予定にしています。

【シリーズ 水の恵み】下久保ダム編 (mizunohi : YouTube チャンネル)  
[https://www.youtube.com/watch?v=MeF45\\_zJ7y4](https://www.youtube.com/watch?v=MeF45_zJ7y4)



## 令和3年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に当たって、水源地域の振興、水環境の保全、水源涵養、水資源の有効活用等に永年にわたって尽力されたことなど、特に顕著な功績のあった個人及び団体が、水資源功績者として受賞されました。

[団体] 5団体

受賞者	功績概要
つなとり 綱取ダムの環境と清流を守る会 (岩手県)	昭和57年の設立以来、多様な主体と連携し、綱取ダム周辺の緑や景観を守るため、清掃活動や不法投棄パトロールなどの取組を行うとともに、綱取ダム管理事務所と連携し、地域住民が参加する森林浴・植物観察会や木工教室、ダム湖巡視などのイベントを実施している。
もおか環境パートナーシップ 会議 (栃木県)	平成18年の設立以来、江川・大久保川の清掃・保全活動及び植樹・緑化活動を実施するとともに、市内小学校での河川に関する環境出前講座の実施のほか、小学生親子を対象とした水資源保全についての環境学習会を実施している。
ながのはらまち 長野原町 (群馬県)	昭和27年の八ッ場 <sup>やんぼ</sup> ダム建設の調査着手以降、半世紀以上にわたり、八ッ場ダム建設事業について、地域住民や国、県などさまざまな関係者との調整を図るなど、首都圏における重要な水資源開発に大きく貢献した。
ひがしあがつままち 東吾妻町 (群馬県)	昭和27年の八ッ場 <sup>やんぼ</sup> ダム建設の調査着手以降、半世紀以上にわたり、八ッ場ダム建設事業について、地域住民や国、県などさまざまな関係者との調整を図るなど、首都圏における重要な水資源開発に大きく貢献した。
次世代のためにがんばる会 (熊本県)	平成13年の設立以来、熊本大学や八代市と共同で、市内の高校生及び小中学生、地元企業、行政機関などが参加する「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」を毎年開催するとともに、熊本大学や国土交通省、八代市、地元企業と連携し、水の重要性について啓発を行う「青少年水サミット2020in八代(オンライン開催)」を開催した。

※国土交通省主催の表彰式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催を取りやめ、各県での伝達が行われました。

## 令和3年度水資源功績者表彰 受賞者写真

[団体]

<sup>つなとり</sup>  
綱取ダムの環境と清流を守る会



左から、会長 馬場氏、副会長 工藤氏

もおか環境パートナーシップ会議



会長 上野氏

<sup>ながのはらまち</sup> <sup>ひがしあがつままち</sup>  
長野原町・東吾妻町



左から、2番目 東吾妻町長 中澤氏、  
4番目 長野原町長 萩原氏

## 第43回全日本中学生水の作文コンクール

全国の中学生及び海外日本人学校在学の中学生を対象に、「水について考える」をテーマとする「第43回全日本中学生水の作文コンクール」を開催し、本年は351校より総数13,025編の応募がありました。各都道府県の地方審査、中央審査会の審査等により、最優秀賞1編、優秀賞9編及び入選29編が選ばれました。

最優秀賞の表彰式は、令和3年8月2日、パークタワーホールで開催された第45回「水の日」記念行事「水を考えるつどい」にて執り行われ、最優秀賞受賞者に赤羽一嘉 前 水循環政策担当大臣より表彰状が授与されました（オンライン表彰）。また、最優秀賞受賞者による受賞作文の朗読映像を放映しました。

### (1) 主催等

主 催：水循環政策本部、国土交通省、都道府県

後 援：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、  
水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

### (2) 募集要領

①テ ー マ：「水について考える」（題名は自由）

②原 稿：400字詰原稿用紙4枚以内

### (3) 中央審査会審査委員 ※敬称略 審査当時

熊谷 和哉 （厚生労働省医薬・生活衛生局水道課長  
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

豊 輝久 （農林水産省農村振興局整備部水資源課長  
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

塩手 能景 （経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課長  
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

森田 健児 （国土交通省大臣官房審議官（水管理・国土保全局水資源部担当）  
：内閣官房水循環政策本部事務局審議官）

筒井 誠二 （環境省水・大気環境局水環境課長  
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

宮田 正博 （全日本中学校長会編修部長）

須磨 佳津江（キャスター）

長崎 宏子 （スポーツコンサルタント）

玉野井 晃 （公益社団法人 日本水道協会調査部長）

三輪 準二 （独立行政法人水資源機構理事）



# 水の作文コンクール



ポケットモンスター  
No.134 シャワーズ  
タイプ みず どくせい ちよすい

水は、地球上の全ての生命の源であり、特に私たちの生活の営みや農業・工業等にとって不可欠なものです。一方、水は、「恵み」の一面もあれば、豪雨や洪水、濁水などの「災い」という一面もあります。また、私たちの暮らしは、水によって支えられていますが、地球上の水は無限ではありません。私たち一人一人が水循環の重要性を理解し、水との関わり方を学んで、水の恩恵を享受し続けるために、何をすべきか考えることが重要です。あなたにとって、水とはどんなものですか？暮らしの中での体験や授業で学んだこと、調べたことをもとに、水についての考えを作文にまとめてみませんか？

◆メインテーマ  
**水について考える**  
(個別の題名は自由)

- ◆原稿(記載要領)
- ① 400字詰原稿用紙4枚以内、日本語で記入された個人作品
  - ② 本文の前(原稿用紙枠内)に題名、学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記

- ◆応募締め切り  
【国内】各都道府県の水資源担当部局にお問い合わせください  
【海外】令和3年5月20日(木)
- ◆提出先(問い合わせ先)  
国土交通省水管理・国土保全局水資源部水資源政策課  
〒100-8918東京都千代田区霞が関2丁目1番地3号  
TEL:03-5253-8386(直通)
- ◆入賞発表  
令和3年7月下旬頃

- ◆表彰(予定)
- 最優秀賞(内閣総理大臣賞) \_\_\_\_\_ 1編
  - 優秀賞(各大臣賞ほか) \_\_\_\_\_ 9編
  - 入選 \_\_\_\_\_ 約30編
  - 佳作 \_\_\_\_\_ 約100編
- 最優秀賞及び優秀賞の受賞者を8月上旬(予定)に東京での表彰式に招待し、賞状等を授与します。また、最優秀賞及び優秀賞の受賞者はダム事務所等の一日事務所長を体験することができます。

【主催】水循環政策本部、国土交通省、都道府県  
【後援】文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

8月1日は「水の日」 | 水循環基本法で、8月1日を「水の日」と定めています。8月1日から8月7日は「水の週間」です。

© 2020 Pokémon. © 1995-2020 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc. ポケットモンスター、シャワーズはPokémonの登録商標です。

※詳しくは「水の日・水の週間」ホームページ  
<http://www.mizunohi.jp>をご覧ください。

水の日 検索



# 内閣総理大臣賞（最優秀賞）

## 私の夢と大切な水

宮崎県

延岡市立恒富中学校

三年

永谷

和希

私は将来、和牛繁殖農家になろうと思っている。繁殖農家の仕事は母牛の世話をして、良い子牛を産ませ市場に出荷することだ。良い和牛を育て、和牛のオリンピックに出場すること、品評会に参加して良い成績を取ることも私の夢である。私がこの様に考えるのは、祖父の影響が大きい。私の家は、稲作と和牛の繁殖農家をしていて、現在も五頭の母牛と三頭の子牛を飼育している。私自身も幼いころから祖父の手伝いをしてきた。祖父の育てた子牛は百万円以上の値をつけたこともあり、いつか祖父を超える繁殖農家になることが私の目標である。良い牛を育てるために大切なのは、日々の餌やり、手入れ、良い健康状態を保つことだと思っている。私の家では、地下四十三メートルから地下水を引き、除去装置を使つてろ過した軟水を、家族も牛も飲んでる。この水と、それを利用して育てた米や野菜のお陰か、私自身も大変健康で、小学校・中学校を通して、無遅刻、無欠席で過ごせている。人間同様、牛にとつても、良い水と安全な餌が大切なことは言うまでもない。特に、牛はしゃべることができないから、人間が良い水と餌を選んで与えることが大切になってくる。牛の餌は牧草と稲わらだ。稲わらは、もちろん田植えをして米を育て、収穫した後のわらである。米や牧草を育てるためにも、安全な水は欠かせない。また、日光や雨も農業にとっては必要不可欠のものである。まさに水は植物・動物の命の源だと思ふ。

水の循環について学び、調べてみると、地球上の水の総量は、およそ四十億年前からはほとんど変わっていないという。日本は豊かな水資源に恵まれていて、蛇口を開けば安全な水が出てくるのが当たり前だが、これは決して世界の常識ではないことを忘れてはいけない。日本人は飲食・入浴・洗濯・水洗トイレなどで、一人当たり一日約二百九十リットルもの水を使っているそうである。その一方で、世界では約七億人の人々が生きていくために必要最低限の三リットルの水すら手に入らず苦しん

でいるという。さらに調べると、実は、日本は国土が狭く人口が多いため、国民一人当たりの水資源量は世界平均の二分の一程度しかなかった。この現実をしつかり受け止め、私たちは、水の大切さをもう一度考え直さなければならぬ。無駄をはぶく意識もしつかり持って生活しなければいけないと思う。私たちが使った水が循環し、世界のどこかの人のための水になると思うと、水をきれいな状態で循環させることも考えなければいけないだろう。

私の通う学校では、通学中のごみ拾い運動を行っている。小さな活動だが、もし日本中の中学生がこの活動をして、一人一つのごみを拾うだけでも、一日約三百二十二万個のごみがなくなることになる。毎日行えば、その三百六十五倍だ。小さな活動も、決して小さなことではなくなると思う。歯磨きの時に水を流しっぱなしにしないことも同じだろう。日本中の家庭が、生活用水の節水を行ったり、生活排水を少しでも減らし、きれいにする努力を行ったりすることの大切さをあらためて考えさせられる。今、プラスチック製品の減量が進められ、私たち中学生でも買物にマイバックを持参するようになった。水を守るためには、水だけでなく、空気や土壌も守らなければならない。それは、自然環境のすべてが連鎖しているからだ。

和牛繁殖農家になるという夢の実現のためにも、私は環境問題に興味を持ち続け、水を守るために自分にできる小さなことをやり続けようと思っている。将来、私が育てる牛も、おいしい井戸水で健康に育ってほしい。五年に一度の和牛オリンピックで、前回は鹿児島県に総合優勝を奪われたが、「宮崎牛」がずっと日本一を守り続けられるように頑張りたい。

第43回全日本中学生水の作文コンクール入賞者一覧

賞名	都道府県名	作文の題名	学校名	学年	お名前 氏名
最優秀賞 内閣総理大臣賞	宮崎県	私の夢と大切な水	のべおかしりつつねとからちゅうがっこう 延岡市立恒富中学校	3	ながたに かずま 永谷 和希
優秀賞 厚生労働大臣賞	兵庫県	『エコ』の意義	ひょうごきょういくだいがくふくふくちゅうがっこう 兵庫教育大学附属中学校	2	こてら 良菜
優秀賞 農林水産大臣賞	香川県	豊かな暮らしをいつまでも	たかまつしりつ かがわ ないいら ちゅうがっこう 高松市立香川第一中学校	2	みぞぶち まくや 溝渕 朝也
優秀賞 経済産業大臣賞	福島県	父と私をつなぐ水	あいづわかまつしりついつきちゅうがっこう 会津若松市立一箕中学校	3	さとう 空成
優秀賞 国土交通大臣賞	沖縄県	「共助」の遺産	あぐにそんりつあぐにちゅうがっこう 粟国村立粟国中学校	3	こたに 杏奈
優秀賞 環境大臣賞	新潟県	私達が担うべき使命	にいがたけんりつつばのちゅうとうきょういっくがっこう 新潟県立燕中等教育学校	3	はねが 詩彩
優秀賞 全日本中学校長会会長賞	熊本県	「あいにく」	こうまきよりつこうまきちゅうがっこう 甲佐町立甲佐中学校	3	とよなが はる
優秀賞 水の週間実行委員会会長賞	愛知県	「あの子達を救いたい」	あひはしりつほんごちゅうがっこう 豊橋市立本郷中学校	2	なかわら ひかり 中村 光里
優秀賞 独立行政法人水資源機構理事長賞	香川県	「四国四県、友情の水」	かがわだいがくきょういっくがくふくふくちゅうがっこう 香川大学教育学部附属高松中学校	3	みぞぐち まい 溝口 真央
優秀賞 中央審査会特別賞	鹿児島県	潤う未来	きかいちゅうがっこう 喜界町立喜界中学校	3	きてい あさひ 喜禎 あさひ
入選（29編）	岩手県	畏怖すべき大切なもの	いわてけんりついちのぼき たいいち こうがく がっこうふくふくちゅうがっこう 岩手県立一関第一高等学校附属中学校	2	はたけやま みみこ 畠山 史子
	福島県	水への恩返し	あいづわかまつしりついつきちゅうがっこう 会津若松市立一箕中学校	2	つかだ 暖菜
	茨城県	カレーの中の危機	つちうらにほんだいがくちゅうとうきょういっくがっこう 土浦日本大学中等教育学校	3	あみなが りり 綱永 莉々
	茨城県	水と共に生きる幸せな未来のために	つちいしりつしんたてちゅうがっこう 筑西市立下館中学校	2	ふじしろ かりす 藤代 かりす
	群馬県	ハッ場ダムと人々の暮らし	ぐんまだいがくきょうとうきょういっくがくふくふくちゅうがっこう 群馬大学共同教育学部附属中学校	3	とよだ あゆ芽 豊田 あゆ芽
	群馬県	きれいな水を守るために	しづかわしりつしづかわちゅうがっこう 渋川市立渋川中学校	2	たかはし みおと 高橋 みおと
	群馬県	モッカ池が教えてくれたこと	しづかわしりつしづかわちゅうがっこう 渋川市立渋川中学校	2	あまた ヒカル 天田 ヒカル
	群馬県	小さな一歩	ぐんまだいがくきょうとうきょういっくがくふくふくちゅうがっこう 群馬大学共同教育学部附属中学校	2	やない さ弥 矢内 さ弥
	千葉県	わたしの流れ旅	ちばしりつ まくほりちゅうがっこう 千葉市立幕張中学校	2	さとう 夏帆 佐藤 夏帆
	東京都	私の使命	とうきょうとりつふじこうとうがくふくふくちゅうがっこう 東京都立富士高等学校附属中学校	1	ふくだ まい結 福田 まい結
	東京都	生命を救う水	あだちくりつはなほちゅうがっこう 足立区立花保中学校	3	さかい 紬 坂井 紬
	神奈川県	豊かな森を育むために	せんぞがくせんちゅうがっこう 洗足学園中学校	1	なかい み希 中井 み希
	富山県	命の源・水	たかおかしりつといでちゅうがっこう 高岡市立戸出中学校	3	いなば 結奈 稲場 結奈
	愛知県	日本の水の恵みは持続可能なのか	なごやしよだいがくちゅうがっこう 名古屋女子大学中学校	3	おわた のりこ 大和田 のりこ
	三重県	受け継いでいくために	たかだちゅうがっこう 高田中学校	1	とよなが まい 富永 まい
	京都府	大海の一滴	やわたしりつおとこやまひがしちゅうがっこう 八幡市立男山東中学校	3	いぐち 慎のすけ 井口 慎のすけ
	京都府	美しさを取り戻して	きょうとしりつつかいひまほしちゅうがっこう 京都市立向島秀蓮小中学校	9	むらかわ ひとみ 村川 ひとみ
	大阪府	蛇口をひねれば、	おおさかきょういっくがくふくふくちゅうがっこう 大阪教育大学附属池田中学校	3	ふじやま ゆかり 藤山 ゆかり
	奈良県	水のパレード	ならけんりつせいしゅうちゅうがっこう 奈良県立青翔中学校	3	こばやし 大悟 小林 大悟
	和歌山県	生命を繋げる水	わかやまけんりつたなべちゅうがっこう 和歌山県立田辺中学校	3	てらだん あい良 寺段 あい良
	広島県	世界を変える雨水	きんきだいがくふくふくちゅうがっこう 近畿大学付属広島中学校東広島校	3	うしかき 結 牛垣 結
	山口県	今の私に出来ること	しゅうなんしりつさくらちゅうがっこう 周南市立桜田中学校	3	やました りか 山下 りか
	愛媛県	生活に関わる貴重な水	いまほしりつはかたちちゅうがっこう 今治市立伯方中学校	3	むらかみ ちひる 村上千紘
	福岡県	「人恵」としての水を誇りに	ふくおかきょういっくがくふくふくちゅうがっこう 福岡教育大学附属福岡中学校	3	うの まさ洋 宇野 まさ洋
	佐賀県	水と命	さがしりつかわさちゅうがっこう 佐賀市立川副中学校	2	むらき 貴博 轟 貴博
	佐賀県	「世界の命を救う水」	さがしりつほくざんちゅうがっこう 佐賀市立北山中学校	2	たなか みう菜 田中 みう菜
	熊本県	水が私に考えさせてくれたこと	みまねちゅうがっこう 御船町立御船中学校	3	てらだ しゅんたろう 寺田 しゅんたろう
	宮崎県	水の舞台に未来を乗せる	みやざきけんりつみやざきにしゅうとうがくふくふくちゅうがっこう 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	2	みうら 世来 三浦 世来
	フランス	一リットルの水から	サンジヨセフ校	3	なかつ 柚 中田 柚

## 一日事務所長体験

全日本中学生水の作文コンクールの優秀賞以上の受賞者を在住地近隣の国土交通省及び独立行政法人水資源機構の事務所等に招待し、一日事務所長として職場体験が実施されました。今年度は、優秀賞以上の受賞者3名が以下のとおり一日事務所長を体験しました（実施日順）。

○受賞者名 愛知県 豊橋市立本郷中学校  
なかむら ひかり  
中村 光里さん  
優秀賞（水の週間実行委員会会長賞）  
実施日 令和3年8月23日（月）  
実施事務所 独立行政法人水資源機構  
豊川用水総合事業部水源管理所  
（宇連ダム）



○受賞者名 宮崎県 延岡市立恒富中学校  
ながたに かずき  
永谷 和希さん  
最優秀賞（内閣総理大臣賞）  
実施日 令和3年8月26日（木）  
実施事務所 国土交通省九州地方整備局  
延岡河川国道事務所



○受賞者名 兵庫県 兵庫教育大学附属中学校  
こてら らん  
小寺 良菜さん  
優秀賞（厚生労働大臣賞）  
実施日 令和3年8月26日（木）  
実施事務所 国土交通省近畿地方整備局  
姫路河川国道事務所



## 第36回水とのふれあいフォトコンテスト

主催等 主催 水の週間実行委員会  
後援 国土交通省、東京都、独立行政法人水資源機構  
協賛 富士フイルムイメージングシステムズ（株）

募集作品 健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する作品

例) ・生命を支え、育む水 ・くらしの中の水  
・ダムや水路、水道など水をつくり、供給するもの  
・歴史とともにある水の風景 など

### ○カラープリント部門

募集期間 令和3年4月26日（月）～ 令和3年6月18日（金）

応募状況 総計 1,894点

審査員（敬称略 審査当時）

中谷 吉隆（写真家） 永井 春信（国土交通省大臣官房審議官）  
筑紫 ゆうな（切り絵作家） 上野 雄一（東京都都市整備局長）  
赤崎 暢彦（水の週間実行委員会運営委員長）

URL <http://www.mizunohi.jp/intro/intro05.html>（「水の日」「水の週間」HP）

### ○SNS部門

募集期間 令和3年4月26日（月）～ 令和3年6月18日（金）

応募状況 総計 1,538点

審査員（敬称略 審査当時）

詩 歩（Shiho）（「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサー）  
ひきたよしあき（株式会社博報堂フェロー）

URL <http://www.mizunohi.jp/photo/winners.html>（「水の日」「水の週間」HP）



河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています。

## 【カラープリント部門受賞作品】

〔グランプリ〕 1名

○ 国土交通大臣賞

「雨の水族館」

なかやま よおぞお  
中山 洋三（徳島県）



〔優秀賞〕 3名

○ 東京都知事賞

「池の水を蘇らせるために」

さくま しゅんすけ  
佐久間 俊輔（東京都）



○ 水の週間実行委員会賞

「稽古を終えて」

なゆき まこと  
名雪 誠（千葉県）



○ 独立行政法人水資源機構理事長賞

「夜明けの放流」

御供 良一 (群馬県)



〔特別賞〕 1名

○ 審査員特別賞

「トワイライト」

上杉 孝徹 (香川県)



〔特選〕 5名

「シャワーキャップ」

葉原 達夫 (滋賀県)

「源流の雫」

木目沢 善喜 (福島県)

「シャボン玉の中」

谷野 和恵 (山口県)

「隅田川ウォーターフロント」

小池 基夫 (東京都)

「眠らぬ夜」

清水 進 (神奈川県)

〔入選〕 10名

「秋を楽しむ」

相羽 強 (静岡県)

「メダカ」

山中 健次 (和歌山県)

「スーパージャンプ」

長谷川 裕二 (長崎県)

「水の営み」

島村 直幸 (福岡県)

「襖」

細田 邦昭 (東京都)

「錦繡の三保ダム」

西山 昌敏 (神奈川県)

「警察官奮闘」

塩田 敏夫 (栃木県)

「冷たくなあれ」

佐藤 絵里 (宮城県)

「最高に美味しい瞬間」

楮山 武 (鹿児島県)

「裸足の休日」

田中 雅之 (京都府)

## 【SNS 部門受賞作品】

[グランプリ] 1名

erk\_inkc

(on instagram)



[特別賞] 2名

chagallmako

(on instagram)



after\_side\_z

(on instagram)



## 上下流交流活動

水の週間実行委員会は、水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発、健全な水循環の重要性について、国民の間に広く理解と関心を深めるため、ダム水源地域等の振興等に資する活動を行う団体に対し、助成に関する公募を行い、選考の上、以下に掲げる9団体に助成を実施しました。

No.	実施団体	名称・内容	実施日・実施場所
1	千葉県上下流交流事業実行委員会	<b>八ッ場ダム上下流交流事業「啓発用リーフレットの作成」</b> 八ッ場ダムの役割・歴史や水源地域に対する理解を深める啓発用資料としてリーフレットを作成した。	
2	道志間伐材活用横浜サポート隊	<b>道志水源林保全活動および活用活動</b> 山梨県道志村の水源林及び民有林の間伐材の伐採、林外搬出等の活動を通じ、上流住民と下流住民の交流を図った。	R3. 10. 23(土) 山梨県道志村ほか
3	秦野市	<b>第5回秦野名水フェスティバル</b> 市民共有の財産である地下水を守り育て、将来にわたって利活用していくため、「秦野名水」の豊かさを広く周知することを目的として、大学と連携して親子を対象に水を使った科学実験教室、水に生息する生物を展示する名水水族館等を実施した。	R3. 8. 1 (日) 神奈川県秦野市 (クアーズテック秦野カルチャーホール)
4	豊川総合用水土地改良区	<b>令和3年度豊川用水上下流交流事業</b> 豊川用水の源地である愛知県新城市在住の小学生に、上流で貯められた水が、下流でどのように有効利用されているかを知ってもらうことを目的に、豊川用水についての概要説明や施設の現地見学等を実施した。	R3. 7. 6(火) 愛知県新城市 (新城市立鳳来寺小学校ほか)
5	生命の水と森の活動センター協議会	<b>ブナ林探訪会</b> ブナを中心とした広大な自然林に触れながら、自然環境保全の大切さを学んだ。 徳山ダムの姿を目の当たりにしながら、ダムの役割を学んだ。	R3. 7. 31(土) 岐阜県揖斐郡揖斐川町 (生命の水と森の活動センターほか)
6	子供のもり公園活性化協会	<b>豊かな大自然で楽しむカヌー体験教室</b> 水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性についての関心を高めることを目的に、小さな子どもから大人まで水と親しめるイベントとしてカヌー体験教室を実施した。	R3. 8. 6 (金) ほか 奈良県宇陀市 (平成榛原子供のもり公園)
7	特定非営利活動法人 新町川を守る会	<b>さめうら水源の森整備交流会</b> 自然環境保全意識を高め、早明浦ダム周辺の豊かな里山再構築を目指し、徳島県、香川県及び源流域の嶺北地域住民による交流会を実施した。	R3. 10. 8(金) 高知県土佐郡大川村
8	こまなき 駒鳴集落を守る会	<b>水辺で乾杯！「納涼川床体験会」</b> 流域住民がこぞって参加できる納涼川床体験会を実施し、河川に親しみ川を体感する機会場の場を創出した。河川の良い環境の維持・保全を図るため、イベント実施前・実施後に、参加者全員で河川清掃活動を行った。	R3. 8. 7 (土) ~10. 3 (日) 佐賀県伊万里市 (ウオーターフロントこまなき)
9	浜川流域まちづくりを考える協議会	<b>浜川と共に生きるまちづくりをめざして</b> 「浜川流域まちづくり計画」の内容を理解し、浜川と共存するまちづくり活動啓発のため、浜川水系河川整備計画の勉強会、浜川流域の清掃活動、浜川の上流域住民と下流域住民の意見交換会を行った。	R3. 8. 1(日) 佐賀県鹿島市 (古枝公民館)

【実施状況（抜粋）】



第5回秦野名水フェスティバル  
(秦野市)



令和3年度豊川用水上下流交流事業  
(豊川総合用水土地改良区)



ブナ林探訪会  
(生命の水と森の活動センター協議会)



水辺で乾杯！「納涼川床体験会」  
(駒鳴集落を守る会)

## 国・地方公共団体等における取組について

内閣官房水循環政策本部事務局をはじめとする国の機関や地方公共団体等において、水に関する理解を深めるための取組が実施されました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、集客型のイベントが多数中止される中、Webサイトでのオンラインイベントなど、新たな形で実施された取組もありました。

### ○国土交通省内でのパネル展示

期間 令和3年8月23日（月）～令和3年9月3日（金）

場所 合同庁舎3号館1階正面玄関展示スペース（東京都千代田区霞が関2-1-3）

内容 第36回水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品、令和3年度水資源功績者表彰受賞者功績概要、第43回全日本中学生水の作文コンクール優秀作品を展示し、国土交通省職員及び来庁者に水の大切さをPRしました。



パネル展示状況  
(水とのふれあいフォトコンテスト  
入賞作品)



パネル展示状況  
(水資源功績者表彰受賞者  
功績概要)



パネル展示状況  
(全日本中学生水の作文コンクール優秀作品)

## ○国土交通省ダムカレーの販売

期間 令和3年7月27日（火）～令和3年7月30日（金）

場所 合同庁舎3号館地下1階職員食堂（東京都千代田区霞が関2-1-3）

内容 「森と湖に親しむ旬間（7/21～7/31）」と「水の週間（8/1～8/7）」のコラボ企画として、国土交通省ダムカレーを販売し、水の日（7月18日）のPRをしました。およそ1日40食が販売され、連日売り切れの盛況でした。（合計156食）

また、7月29日には、渡辺国土交通副大臣と三橋水資源部長によるダムカレーの試食が行われました。



ダムカレーのモデルとなった矢木沢ダム



ダムカレー試食の様子  
（渡辺国土交通副大臣、三橋水資源部長）

## ○こうつきがわ甲突川リバーフェスティバル【鹿児島県】

期間 令和3年7月17日（土）、7月18日（日）

場所 甲突川、かごしま環境未来館

主催 鹿児島市

人数 約4,800人（上記期間の合計）

内容 家族で楽しみながら環境について考え、行動を起こすきっかけづくりを目的に、かごしま環境未来館前を流れる甲突川を活用したイベントを開催し、親子カヌー体験や生き物観察会のほか、甲突川に住む生き物の展示等を行いました。

来場者に甲突川に住む身近な生き物を知り、甲突川の自然環境の豊かさに触れていただきました。



甲突川親子カヌー体験



甲突川生き物観察会



甲突川ミニミニ水族館

○第3回「我が家の節水自慢／フォトコンテスト」【(一社) 日本レストルーム工業会】

募集期間 令和3年3月1日(月)～令和3年5月31日(月)

結果発表 令和3年8月1日(日)

主催 一般社団法人 日本レストルーム工業会

入選 最優秀たくみ賞：1点、優秀たくみ賞：3点、たくみ賞入選5点

内容 巧水スタイル※1推進の一環として、水への関心を高め、節水を考える機会の創造を目的とした「我が家の節水自慢／フォトコンテスト」を実施しました。

幅広い年齢層の方から多くのご応募をいただき、応募作品を通して、改めて水が身近にあることの喜びとともに、その恵みの尊さ・大切さを感じることができました。

入選者は8月1日の「水の日」にあわせ、(一社) 日本レストルーム工業会ホームページ等で発表しています。

※1 巧水スタイルとは、「水を賢く使う社会」の実現のために、日本が世界に冠たる水の国、巧水(たくみ)の国となっていけるよう、産学官の連携によって「節水意識」の向上と「節水化技術」、「節水化システム」の普及・啓発を図る活動によって目指す社会のキーワードです。

募集チラシ

涼  
平野昌子さん  
(神奈川県)  
おめでとうございます!

〈応募者コメント〉  
キラキラとした真夏の太陽が照りつける中行われたお祭りでの一コマです。神輿への水かけのために用意してあったバケツに2人ですっぽり！楽しんで涼をとっていました。エコな熱中対策です。

〈選評〉  
ジリジリと続けるような真夏の暑さも、バケツ1杯の水によって、一気に気持ちの良い涼を得ることができます。冷たい水の中に入ったふたりが、まわりの暑さから解放され何とも気持ちよさそう。水の持つ魅力を印象的に捉えた1コマです。

第3回「我が家の節水自慢」  
最優秀たくみ賞 受賞作品

○「水の日」ブルーライトアップ

実施日 令和3年8月1日（日）

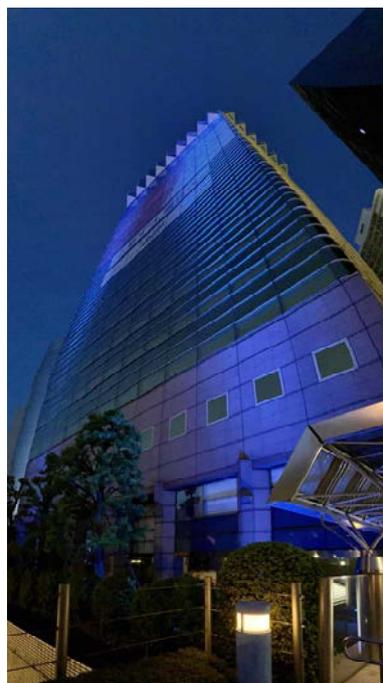
場 所 全国各地の施設（52箇所）

内 容 内閣官房水循環政策本部事務局では、8月1日「水の日」に、「水の日」の認知度向上や普及啓発を図るため、「水」を連想させるブルーでのライトアップを都道府県、事業者、関係団体等に呼びかけ、全国各地の施設で実施されました。

ブルーに染まった各地の施設



プリンス芝公園  
(東京都港区)



アサヒグループ本社ビル  
(東京都墨田区)



熊本城  
(熊本県熊本市)

## 広報の取組

今年度の広報の取組として、水資源の有限性や水の貴重さについての理解と関心を深めて頂くため、若者を中心に幅広い世代で人気がある「ポケットモンスター」(通称ポケモン)の「シャワーズ」を、「水の日」応援大使に任命するなど、より多くの方々に、「水の日」を知って頂けるよう積極的な広報を行いました。

### ○「水の日」応援大使の任命

今年度新たな取組として、令和3年7月19日に若者を中心に幅広い世代に人気があり、世界中に多くのファンを持つ作品「ポケットモンスター」(通称ポケモン)の「シャワーズ」を「水の日」応援大使として任命し、赤羽一嘉 前 水循環政策担当大臣から任命書を授与しました。

「シャワーズ」は[タイプ:みず、とくせい:ちよすい]という「水の日」のPRにふさわしいポケモンで、綺麗な水辺に生息し、細胞が水の分子に似ていることから、「水の日」を応援してくれています。

今後、「シャワーズ」大使には、様々な活動を通じて「水の日」の認知度向上に向けた取組などにご協力いただく予定です。



赤羽一嘉 前 水循環政策担当大臣と「水の日」応援大使「シャワーズ」

### ○「水の日」動画によるPR

投稿日 令和3年7月19日(月)

媒体 YouTube(国土交通省チャンネル)

URL <https://youtu.be/Fx7T7geA9Zw> (30秒版)

<https://youtu.be/4oyQwTM4wfs> (15秒版)

「シャワーズ」と2021ミス日本「水の天使」の嶺百花さんが出演する「水の日」PR動画(30秒版と15秒版)を制作し、YouTube(国土交通省チャンネル)で公開しました。「水の日」応援大使任命式当日(7月19日)に公開した30秒版は、特に大きな反響があり、昨年の動画を大きく上回り、公開から約2ヶ月余りで2万9千回を超えて再生されています。(昨年の「水の日」PR動画(令和2年7月17日公開)は約7千5百回以上再生)



水の日 PR 動画



水の日 PR 動画  
30 秒版



水の日 PR 動画  
15 秒版

## ○「水の日」ポスターによるPR

期間 令和3年7月1日（木）～令和3年8月7日（土）

場所 関係府省庁、都道府県、市町村、中学校、鉄道会社（37社）等で掲出

内容 「シャワーズ」と嶺百花さんを採用したポスターを制作し、積極的な情報発信を行いました。

ポスターは、官公庁（地方公共団体、地方整備局等）のほかに、全国の鉄道会社や民間企業の施設でも掲示いただき、「水の日」の認知度向上を図りました。（ポスター配布枚数約2万枚）



令和3年度「水の日」ポスター

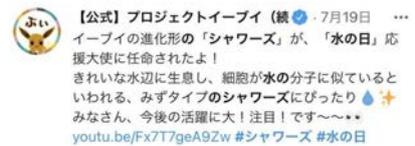


ポスター掲出状況  
東京メトロ(新宿駅)

## ○SNS (Twitter)、TV番組によるPR

今年度は、シャワーズの「水の日」応援大使への任命、「水の日」動画への出演を契機に、SNS（ツイッター）を活用した周知に力を入れて取り組みました。任命式、8月1日「水の日」などに国土交通省及び㈱ポケモンの公式Twitterでそれぞれ投稿し、大きな反響がありました。（任命式のツイートは国土交通省と㈱ポケモンで合計した「いいね」の数は、24,000以上。）

また、「水の日」当日に放送されたテレビ東京の「ポケモンの家あつまる？」では、「水の日」応援大使「シャワーズ」が登場し、番組内で「水の日」を紹介していただくなど、TV番組による普及啓発も実施しました。



(株)ポケモン Twitter

### ○SNSによるバナー広告の掲載

サイト名 Twitter、Instagram、YouTube

期 間 令和3年7月7日（水）～令和3年8月2日（月）

広告内容 ～ポケットモンスター「シャワーズ」が『水の日』を応援！～みなさん、8月1日が「水の日」って知ってましたか？みなさんも、「水の日」をきっかけに、水の大切さや健全な水循環の重要性について、家族やお友達と一緒に考えてみませんか。#水の日で投稿して、「水の日」を盛り上げましょう。



バナー広告

### ○WEB雑誌によるPR

期間 令和3年7月19日（月）～令和3年8月15日（日）

媒体 Q J W e b（クイック・ジャパンウェブ）

内容 若者を中心に人気があるQ J W e b（クイック・ジャパンウェブ）に、「水の天使」嶺百花さんのインタビュー記事を掲載しました。インタビューの中で、「水の日」のあらまし、健全な水循環の重要性などについて語っていただき、若者向けの普及啓発を実施しました。

©2021 Pokémon ©1995-2021 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

第45回「水の週間」（令和3年度）都道府県行事一覧

項目 都道府県名	ポスター	パンフレット	講演会・音楽会・研修会 シンポジウム等	映画会・施設見学会等 上下流交流	街頭キャンペーン アンケート	展示会等	水の作文コンクール	広報・PR活動等					
								テレビ	ラジオ	新聞	広報紙	ホームページ	電光掲示板・横断幕板 懸垂幕・立看板
全国	47	7	2	6	2	19	47	2	8	7	15	38	12
北海道	○	☆				◎	◎					○	
青森県	○					☆	◎					○	
岩手県	○						◎					○	
宮城県	○					○	◎					○	
秋田県	○						○						
山形県	○						○				☆	☆	
福島県	○						◎					◎	
茨城県	○	◎				○	○					○	
栃木県	○	◎					◎		○	○		○	○
群馬県	○						◎					○	
埼玉県	○						◎		◎		◎	◎	◎
千葉県	○					○	◎				◎	○	○
東京都	○					○	◎					○	○
神奈川県	○			☆		☆	◎		☆	☆	◎	◎	☆
新潟県	○						◎	○				○	
富山県	○						◎			○			
石川県	○						◎						
福井県	○					○	○					☆	
山梨県	○						○					☆	☆
長野県	○	◎					○						
岐阜県	○					◎	◎					○	
静岡県	◎	◎				☆	◎				◎	◎	
愛知県	○			☆		◎	◎					○	
三重県	○						◎					○	
滋賀県	○						◎			○		○	
京都府	○					◎	◎					◎	
大阪府	○		☆	☆	☆	☆	◎				☆	☆	
兵庫県	○					◎	◎			◎		◎	☆
奈良県	○					◎	◎					○	
和歌山県	○						◎					○	
鳥取県	○						○						
島根県	○						◎					○	
岡山県	○						○		☆		☆		☆
広島県	○						◎					◎	
山口県	○						◎					○	
徳島県	○			○		○	◎						○
香川県	○	◎		○			◎		○		○	○	
愛媛県	○			☆		◎	◎	○				◎	◎
高知県	○				◎		◎					○	
福岡県	○						◎		○		○	○	○
佐賀県	○					○	◎					○	
長崎県	○						◎				☆	◎	
熊本県	○		☆			○	○				☆	○	
大分県	○						◎		○				○
宮崎県	○						◎		○	○		○	○
鹿児島県	○						◎				☆	☆	
沖縄県	○	◎					◎					○	

注) 「ポスター」欄の○は、全国共通版（国土交通省作成）を配布したことを示し、◎は都道府県等で独自に作成したものも配布したことを示す。

「パンフレット」欄の◎は、都道府県等で独自に作成したものを配布したことを示す。

「水の作文コンクール」欄の◎は、都道府県レベルでの「地方表彰」を行っていることを示す。

それ以外の○は、都道府県が独自に取り組んでいることを示し、◎は都道府県に加え市町村等が独自に取り組んでいることを示し、☆は市町村等のみが独自に取り組んでいることを示す。

## 第45回「水の週間」新聞等報道状況

月 日	都道府県	新聞名	地域	見 出 し
5月28日	福島県	福島民報	地方	優秀賞に5作品 中学生水の作文コンクール
5月28日	福島県	福島民友	地方	青山さん(矢吹3年)ら優秀賞 県中学生水の作文、5点全国へ
7月18日	香川県	西日本放送(ラジオ)	地方	節水チャレンジについて
7月20日	北海道	北海道新聞	地方	渡辺さん 留萌港南中 全道最優秀賞 水の作文コンクール
7月20日	香川県	FM SUN(ラジオ)	地方	節水チャレンジについて
7月25日	栃木県	日刊建設新聞(栃木版)	地方	水の日啓発活動 5日にイベント
7月25日	神奈川県	読売新聞	地方	名水スポット 秦野を巡ろう
7月26日	鹿児島県	南日本新聞	地方	甲突川を満喫 リバーフェス
7月28日	鹿児島県	南日本新聞	地方	第43回全日本中学生水の作文コンクール入賞者
7月29日	茨城県	茨城新聞	地方	最優秀賞に網永さん(土浦日大中教校3年)中学生「水の作文」で表彰
7月29日	神奈川県	神奈川新聞	地方	中学生水の作文コン 中井さんが県最優秀賞 入賞者決まる
7月29日	神奈川県	水道産業新聞	全国	水循環啓発動画を制作
7月30日	宮崎県	夕刊デイリー	地方	内閣総理大臣賞を受賞 全日本中学生水の作文コンクール
7月30日	鹿児島県	建設新聞	地方	中学生水の作文コンクール 喜界中 喜禎さんが優秀賞
7月30日	鹿児島県	建設新聞	地方	「水の日」でブルーライトアップ
7月31日	北海道	苫小牧民報	地方	「とまチョップ水」をPR あすから「水の週間」市役所にポスター掲示
7月31日	青森県	デーリー東北新聞	地方	入賞作など66点を展示 「水の日」ポスター・写真展始まる
7月31日	栃木県	栃木放送(ラジオ)	地方	県政ナビ「水の日・水の週間」
7月31日	栃木県	日本工業経済新聞(速報栃木版)	地方	8月5日に水の日イベント 道の駅はがでペットボトル水配布
7月31日	神奈川県	神奈川新聞	地方	8月1日は水の日!
7月31日	和歌山県	紀伊民報	地方	全日本中学生水の作文コンクール
8月1日	富山県	北日本新聞	地方	きょう8月1日は「水の日」
8月2日	青森県	陸奥新報	地方	旧制木造中学校講堂ライトアップ「水の日」に合わせ青く
8月2日	愛知県	中日新聞	地方	クイズや解説パネル 県内の農業用水紹介
8月2日	兵庫県	神戸新聞	地方	水を大切にしよう カリヨン青くライトアップ
8月2日	熊本県	熊本日日新聞	地方	水の日記念イベント(地下水と農業を考える)
8月3日	群馬県	上毛新聞	地方	豊田さんら本県4中学生が入選 水の作文コンクール
8月4日	富山県	富山新聞	地方	水の作文5人が入賞 県中学生コンクール

8月4日	長野県	市民タイムス	地方	川の生き物捕まえた！和泉川で観察会
8月4日	愛知県	日本農業新聞	地方	農業用水を学ぼう
8月4日	和歌山県	テレビ和歌山	地方	全日本中学生水の作文コンクール
8月4日	和歌山県	和歌山放送(ラジオ)	地方	第43回「全日本中学生水の作文コンクール」表彰式
8月4日～6日	滋賀県	京都新聞	地方	滋賀県中学生水の作文コンクール
8月5日	北海道	経済の伝書鳩	地方	全日本中学生水の作文・北海道地方コンクール入選
8月5日	神奈川県	日本水道新聞	全国	「水の日」啓発動画 横浜市3局
8月5日	徳島県	徳島新聞	地方	親子連れ22人カヌー楽しむ 美馬 水難事故防止で催し
8月6日	徳島県	徳島新聞	地方	親子でラフティング楽しむ 三好 吉野川に親しむ催し
8月6日	高知県	高知新聞	地方	水の大切さ訴えパネルやセミナー
8月7日	和歌山県	わかやま新報	地方	寺段さんが全国入選 中学生水の作文コンクール
8月11～13日	和歌山県	和歌山放送(ラジオ)	地方	第44回「全日本中学生水の作文コンクール」表彰式(朗読)
8月15日	宮崎県	宮崎日日新聞	地方	ひと 全日本中学生水の作文コンクールで最優秀賞を受賞した永谷和希さん
8月21日	愛媛県	愛媛新聞	地方	松山市・「『水』への絵はがき」入賞者
8月21日	宮崎県	毎日新聞	地方	全国中学生水の作文コン 永谷さん(宮崎延岡)最高賞
8月24日	愛知県	東愛知新聞	地方	中村さん一日水源管理所長
8月27日	和歌山県	テレビ和歌山	地方	ピックアップコーナー「全日本中学生水の作文コンクール」
8月27日	宮崎県	読売新聞	地方	河川事務所一日所長 水の作文最優秀・水谷君

## 「水の週間」実施経過

メインスローガン「水ーこの限りある貴重な資源」「水は限りある貴重な資源です」

(国土庁発足 S49. 6. 26)

(国土交通省に再編 H13. 1. 6)

(水循環政策本部発足 H26. 7. 1)

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備考
昭和 52 (1)	貴重な水・あなたと一緒に考えたい	水の用心	○水の週間展示会(国土庁会議室) (ポスター、パンフレット) ○第1回水資源に関するシンポジウム (10. 25)	・水の週間閣議了解(5. 31) ・国連水会議(3. 14 ~ 25) ・第三次全国総合開発計画閣議決定
昭和 53 (2)	水の価値をみなおそう 水源地域の人々に感謝しよう 水とのふれあいのなかで……	水も難局だな	○ウォーターフェア'78 (銀座 松屋)	・水の週間実行委員会設立 (5. 8、11 団体) ・長期水需給計画策定 ・福岡渇水
昭和 54 (3)	水源地域の人々に感謝しよう 水の大循環の中で私たちは… 限りある水ーいまこそいかに私 たちの智慧ー	育てよう水 ー足どり確かに、 一歩一歩。ー	○ウォーターフェア'79 (船の科学館) ○第1回全日本中学生水の作文コンク ール ○水資源功績者表彰 ○ウォーターフェアふくおか(福岡市)	・水資源世論調査
昭和 55 (4)	節水型社会をめざして 上下流の連帯を育てよう	貯めましょう日本の水 ーみんなの水を、みんなの水 で。ー	○ウォーターフェア'80 東京 (科学技術館) ○上下流交流運動	・地域水需給計画推進 ・沖縄渇水
昭和 56 (5)	水源地の人たちに感謝しましよ ういのちの水・水とののであい。	今日の水・明日の水 ー水みんなの和で 育てよう。ー	○ウォーターフェア'81 東京 (科学技術館) ○第1回ウォーターフェア隅田川 レガッタ ○ウォーターフェアポートピア (兵庫県)	・水研究協力校の指定
昭和 57 (6)		丈夫な水に育てたい。	○ウォーターフェア'82 東京 (科学技術館) ○第2回水資源に関するシンポジウム (8. 3 ~ 5)	・長崎水害
昭和 58 (7)		やさしい、水、好き。	○ウォーターフェア'83 東京 (科学技術館)	・これより毎年、水資源白書作成
昭和 59 (8)		水の愛につつまれて	○ウォーターフェア'84 東京 (科学技術館)	・水資源局から水資源部へ改組 (国土庁) ・国際河川博覧会(アメリカ・ニュー オリンズ)
昭和 60 (9)	考えよう水ーくらしと水・資源とし て水ー	水・ありがとう。	○ウォーターフェア'85 東京 (科学技術館) ○ウォーターフェア KOBE (神戸市)	・冬期渇水
昭和 61 (10)	築こう 水のある豊かな暮らし	いつも水といっしょ。	○ウォーターフェア'86 東京 (科学技術館) ○ウォーターランド(新宿副都心) ○第1回水とのふれあいフォトコンテ スト ○ダム子供マラソン(宮ヶ瀬ダム)	・水資源世論調査 ・冬期渇水(西日本)
昭和 62 (11)	水のある豊かな暮らし	水は、ともだち。	○ウォーターフェア'87 東京 (科学技術館) ○第3回水資源に関するシンポジウム (浩宮殿下による特別講演) (8. 4 ~ 5)	・首都圏渇水 ・第四次全国総合開発計画閣議決定 ・全国総合水資源計画(ウォーターブ ラン2000)策定
昭和 63 (12)	水のある豊かな暮らし	ぼくの水、みんなの水。	○ウォーターフェア'88 東京 (科学技術館) ○水の日記念テレビトーク	・浩宮殿下展示会御台臨 ・竹下内閣総理大臣記念式典臨席
平成元 (13)	水のある豊かな暮らし	水、今日もありがとう。	○ウォーターフェア'89 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下展示会行啓 ・宇野内閣総理大臣記念式典臨席
平成2 (14)	水のある豊かな暮らし	水がささえる豊かな社会	○ウォーターフェア'90 東京 (科学技術館)	・人と水とのかかわり世論調査 ・首都圏渇水

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備考
平成3 (15)	水が支える豊かな暮らし	水…みんなの宝	○ウォーターフェア’91 東京 (東京都庁)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成4 (16)	水が支える豊かな暮らし	考えよう、水のあした	○ウォーターフェア’92 東京 (東京都庁) ○第4回水資源に関するシンポジウム (10.24)	・環境と開発に関する国連会議
平成5 (17)	水が支える豊かな暮らし	水がなくては生きられないから ね	○ウォーターフェア’93 東京 (墨田区役所)	・「国連水の日」制定(3.22)
平成6 (18)	水が支える豊かな暮らし	すばらしい自然の恵み 「水」を見直そう	○ウォーターフェア’94 東京 (墨田区役所)	・村山内閣総理大臣記念式典臨席 ・全国的な渇水 ・人と水とのかかわり世論調査
平成7 (19)		大切に使おう、かけがえない 「水」	○ウォーターフェア’95 東京 (墨田区役所)	
平成8 (20)		天の恵み「水」。ありがとう。 「水」を見つめて、20年。	○ウォーターフェア’96 東京 (科学技術館)	・皇太子ご夫妻記念式典、展示会行啓 ・橋本内閣総理大臣記念式典臨席
平成9 (21)		夏、到来。	○ウォーターフェア’97 東京 (科学技術館) ○第5回水資源に関するシンポジウム (8.4～5)	
平成10 (22)		みんなで考えよう、 水の大切さ…。	○ウォーターフェア’98 東京 (科学技術館)	
平成11 (23)		「当たり前」ではありません！	○ウォーターフェア’99 東京 (科学技術館) ○水源地域からのメッセージ	・新しい全国総合水資源計画(ウォータープラン21)策定 ・小淵内閣総理大臣記念式典臨席、展示会視察
平成12 (24)		水の力	○ウォーターフェア2000 東京 (江戸東京博物館)	
平成13 (25)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’01 東京 (東京都庁)	・国土交通省発足(1.6) ・全国的な渇水
平成14 (26)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’02 東京 (新宿パークタワー) ○第6回水資源に関するシンポジウム (8.2～3)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成15 (27)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’03 東京 (科学技術館)	・長い梅雨、冷夏
平成16 (28)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア’04 東京 (科学技術館)	・東京の真夏日の連続記録更新 ・局所的な豪雨
平成17 (29)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア’05 東京 (科学技術館)	・全国的な渇水 ・局所的な豪雨
平成18 (30)		水のある幸せ、これからも	○ウォーターフェア’06 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下 水の展示会行啓 ・17年末に全国で大雪、降水量首都圏は 平年並み
平成19 (31)		水がある、いのちがある。	○ウォーターフェア’07 東京 (科学技術館) ○第7回水資源に関するシンポジウム (8.3～4)	・春から6月にかけて西日本を中心に少 雨続く、梅雨入りに遅れ、一部で渇 水、夏に記録的高温
平成20 (32)		水がはぐくむ和の暮らし	○ウォーターフェア’08 東京 ○水を考えるつどい(科学技術館)	・中国、四国地方を中心とした渇水 ・局所的な豪雨
平成21 (33)		将来を安全・安心に暮らすた め、水を大切に使う社会へ	○ウォーターフェア’09 東京 ○水を考えるつどい(科学技術館)	・中国、九州北部を中心とした記録的 な豪雨
平成22 (34)		水の安心・安全を考えよう！	○ウォーターフェア’10 東京 ○水の週間記念シンポジウム (科学技術館)	・局所的な豪雨 ・全国で記録的な猛暑
平成23 (35)		水の恵み～東日本大震災を機 に考える～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○「水の週間」水を考えるつどい (科学技術館)	・皇太子殿下水を考えるつどい行啓 ・平成23年7月新潟・福島豪雨 ・全国で節電の夏
平成24 (36)		水の恵みを未来に～健全な水循 環の再生を目指して～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム (科学技術館)	・平成24年7月九州北部豪雨 ・利根川水系渇水 ・全国で節電
平成25 (37)		安全・安心な水のために	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム(発明会館)	・全国的な渇水 ・全国で記録的な猛暑、局所的な豪雨

年・回	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成 26 (38)	水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(砂防会館) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本法施行及び水循環政策本部設立 ・水循環基本法における「水の日」の法定化 ・平成 26 年 8 月豪雨(広島、京都など) ・御嶽山噴火
平成 27 (39)	みんなで考えよう！水のこと！	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(国連大学) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本計画閣議決定(平成 27 年 7 月) ・平成 27 年 9 月東北・関東豪雨
平成 28 (40)	水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(科学技術館) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・皇太子同妃両殿下 水を考えるつどい行啓 ・全国的な渇水
平成 29 (41)	水を探そう	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・平成 29 年 7 月九州北部豪雨 ・全国的な渇水
平成 30 (42)	水は、大切でした。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・平成 30 年 7 月豪雨
令和元 (43)	私たちを支える水。 考えてみませんか。 訪ねてみませんか。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(パークタワーホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・全国的な渇水 ・令和元年 8 月前線に伴う大雨による土砂災害発生(佐賀県、長崎県など) ・令和元年 9 月台風 15 号による住家被害、大規模停電、断水(千葉県) ・令和元年 10 月台風 19 号による堤防決壊(東日本)
令和 2 (44)	ポケットモンスターのシャワーズも 8 月 1 日「水の日」を応援しています。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(Web 配信)	・世界中に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が蔓延 ・新たな「水循環基本計画」が閣議決定(令和 2 年 6 月) ・令和 2 年 7 月豪雨
令和 3 (45)	未来へうけつごう 日本のきれいな水	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(パークタワーホール) ○水の週間中央行事「水の展示会オンライン」	・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威 ・水循環基本法の一部改正(令和 3 年 6 月)、流域治水関連法の施行(令和 3 年 7 月) ・令和 3 年 7 月伊豆山土砂災害

※ 全日本中学生水の作文コンクール及び水とのふれあいフォトコンテストは、現在も継続中。

## 水の週間実行委員会について

昭和 53 年に、水に関係の深い民間団体により、「水の週間実行委員会」が設立され、「水の日」「水の週間」の趣旨に賛同し、この運動をさらに広汎な国民運動として推進することとして、政府・地方公共団体等が行う各種の啓発活動と連携して諸活動を実施している。

### 水の週間実行委員会設立趣意書

(昭和 53 年 5 月 8 日設立総会)

かつて、ケネディは「21 世紀を制するものは原子力と水だ」と断言し、水問題の重要性を訴えたが、まことに水は国の産業経済の発展のみならず人類の生存に必須なものであり、水問題の解決なくしては将来の発展は考えられないといつてよいであろう。

古来、我が国は、豊葦原瑞穂の国といわれ豊かな水に恵まれ“水の恩恵”を享受してきており、「水は天からもらい水」「湯水のように使う」などの言葉に示されるように水はいつでも好きなだけ使える無尽蔵な資源と考えられがちであった。

しかし、近年における生活水準の向上、産業経済の発展に伴い特に人口・産業の集中が著しい関東・近畿等の都市における生活用水、工業用水等の水需要が急激に増大し、渇水時における水不足や水質汚濁、地盤沈下等の問題を生じるどころとなり、ようやく「水」が限りある資源として認識されはじめたところであるが、まだ十分とはいえない。

このため、政府は、昭和 52 年に 8 月 1 日を「水の日」とし、この日から 1 週間を「水の週間」と定め水に関する国民の理解と認識を深めることとして、水に関する各種の啓発運動を実施したところであるが、誠に時宜を得た意義深いものであり、今後とも積極的な展開が望まれるところである。

とりわけ、開発適地の減少等からダム等による水資源開発が次第に困難となり近い将来における水需要のひっ迫が避けられず、今後は水利用の合理化等の施策の推進が必要となっている今日の状況に鑑みるならば、「水の週間」における啓発運動をさらに積極的に推進し、国民一人一人が水資源開発の重要性を十分認識し、水の有限性・貴重さを理解し節水等の具体的な行動に留意するような効果的な運動として盛り上げる必要がある。

このような考えのもとに、政府による「水の週間」の各種の啓発運動と一体となった諸行事を積極的に実施し、もって水資源問題解決の一助に資するものとして、「水」に深いかかわりをもつ事業団体等によっての水の週間実行委員会を設立するものである。

# 水の週間実行委員会組織

会長 虫明功臣

令和 3年10月 1日現在

団 体 名	実 行 委 員	運 営 委 員	
全国水土里ネット 造水促進センター 日本治山治水協会 日本河川協会 日本工業用水協会 日本水道協会 全国簡易水道協議会 日本下水道協会 日本ダム協会 利根川・荒川水源地域対策基金  日本水フォーラム 土木学会 農業農村工学会 東京大学 水資源機構	専務理事	室本隆司	広報センター所長
	理事長	山本和夫	専務理事
	会長	山口俊一	専務理事
	会長	松田芳夫	常務理事
	会長	正司尚義	専務理事
	理事長	吉田永	調査部長
	会長	小田祐士	事務局長
	理事長	岡久宏史	常務理事
	会長	押味至一	専務理事
	理事長	藤井友竝	事務局長
	常務理事	渡邊和足	
	代表理事	竹村公太郎	代表理事
	会長	谷口博昭	専務理事
	会長	平松和昭	専務理事
名誉教授	虫明功臣		
理事長	金尾健司	総務部長	
理事	◎山田哲也		
		牧千瑞	
		大熊那夫紀	
		津元頼光	
		志賀文夫	
		岩井昭則	
		玉野井晃	
		小平鉄雄	
		成田儀範	
		工藤啓	
		明戸邦浩	
		竹村公太郎	
		塚田幸広	
		小泉健	
		小山陽一郎	

団 体 名	実 行 委 員	運 営 委 員	
国土交通省（水資源部）	—	大臣官房審議官 水資源政策課長 水資源計画課長 水資源政策課水源地域対策企画官 水資源政策課課長補佐	◎永井春信
東京都（都市整備局）	—	局 長 都市づくり政策部長 都市づくり政策部 水資源・建設副産物担当課長	石川亨 川村謙一 志賀紹子 唐澤久崇 上野雄一 小野幹雄 増井潔

◎運営委員長 ○運営副委員長

# 第45回「水の週間」ポスター

# 8月1日は 水の日

未来へうけつごう  
日本のおきれいな水

ポケットモンスター  
No.134 シャワーズ  
タイプ みず  
とくせい ちよすい

水循環基本法に基づき  
8月1日が「水の日」と定められました。  
8月1日から7日は「水の週間」です。

シャワーズは綺麗な水辺に生息し、  
細胞が水の分子に似ていることから、「水の日」を応援しています。

<http://mizunohi.jp> 水の日 検索

「主催」水循環政策本部、東京都、水の週間実行委員会ほか  
「後援」文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省ほか  
「水の日・水の週間」に関する情報は各ホームページへ  
（首相官邸、国土交通省、水の日・水の週間）

2021 Miss Japan「水の天使」  
嶺 百花

写真：刈込池（福井県大野市）

©2021 Pokémon ©1995-2021 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc.  
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリエーターズ・ゲームフリークの登録商標です。

## 水の週間実行委員会事務局

〒330-6008 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2

独立行政法人水資源機構 総務部広報課内

TEL 048-600-6513 FAX 048-600-6510